

ホームページをご覧の皆様、こんにちは。

日々暖かさが増し、本格的に春めいてまいりました。

しかしながら、まだまだ昼夜の寒暖差は大きく、深夜や早朝にかけて、橋の上やトンネルの中などが凍結している場合があります。

春の新年度の始まりに、悲しい事故が起きないように、ドライバーの皆さんには「凍っているかも」など、危険を予測しながらの「かもしれない運転」をお願い致します。

また、3月中には当署管内において、警察官などを名乗る者からの特殊詐欺の予兆電話が複数件確認されています。

警察官が金銭を要求することはなく、また、「+」から始まる携帯電話番号は特殊詐欺です。

特殊詐欺だと疑われる電話を受けたら、個人情報を教えたり現金の支払いに応じることなく、最寄りの警察署又は「#9110」に必ず相談して下さい。

以下は北海道警察からのお知らせです。

1 春の全国交通安全運動の実施

春歩行者もドライバーも「ハンドサイン」で事故防止

「春の全国安全運動」が4月6日（日）から4月15日（火）の10日間実施されます。

～交通事故を防止するためのポイント

○新入学の時期を迎え、新1年生の登下校が始まります

通学路では、こどもの飛出し等が予想されることから、スピードダウンを徹底し、予測運転に努めましょう

○こどもが安全に道路を横断することができるよう、正しい交通ルールを身につけられる交通安全教育を行いましょう

○横断歩道は歩行者が優先です

歩行者とドライバーが手を上げるなどの合図をして相互に意思疎通を図る「ハンドサインでストップ運動」を実践しましょう

○車や自転車等を運転しながら、携帯電話を操作したり通話等をする「ながら運転」は絶対にやめましょう

○車に乗ったら全ての座席でシートベルトを着用し、こどもが乗車する時はチャイルドシートを使用しましょう

○自転車や特定小型原動機付自転車を運転中に転倒し、頭部を負傷した場合、致命傷となる可能性があることから、乗車する際はヘルメ

ットを着用しましょう

春の全国交通安全運動

2 春のヒグマによる人身被害の防止

～春はヒグマとの遭遇に注意～

- ヒグマは、河川敷、緑地帯、公園などのほか、身近な場所に潜んでいる可能性があるため、自治体のホームページや新聞、テレビなどでヒグマの出没情報を確認しましょう
- 山に入る際は、熊除けの鈴や笛など音が出るものを鳴らし、複数で行動するとともに、万が一、ヒグマが襲いかかってきたときに身を守るための熊撃退スプレーを持つようにしましょう
- ふんや足跡を見つけたら、すぐに引き返しましょう
- 畑の農作物や草木などが食いちぎられた跡などを見つけたときは、すぐに引き返し、警察に通報しましょう
- ヒグマは、いったん人間の食べ物の味を覚えると、それを目当てにゴミ捨て場などに繰り返し出没します
山中に生ゴミを放置したり、埋めたりしないようにしましょう
- もしもヒグマを見たら、ゆっくり後ずさりしながら静かにその場を離れましょう
ヒグマに遭遇したときに、逃げたり、騒いだりするとヒグマを興奮させて襲われる可能性があります
リュックや持ち物は回収しないで、背中をみせず、ゆっくりと静かに立ち去りましょう

3 山菜採りによる遭難の防止

「目先の収穫よりも安全第一」～遭難防止ポイント～

- 行き先や帰宅予定時間を家族等に伝える
- 山奥に入らない
- 単独入山を避ける
- 目立つ色の服装を着用する
- 携帯電話やホイッスルを携帯する

令和7年4月

旭川方面枝幸警察署長

藤田 大樹（ふじた ひろき）